

GREEN SYSTEM 21の年間実施例

商 品 名	使用方法	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
①ミネロングN	単独散布	4.0			1.0		1.0		1.0		1.0				500～1000倍希釈でL/m ² 散布。ミネラル補給と、固着した有機物の分解、土壌改良。
②ミネバイオS	②～⑨タンクミックス	14.0			2.0		2.0	2.0			2.0	2.0	2.0	2.0	有用土壌菌とミネラル、植物成長ホルモンを補給することで、土壌を改良し、病害虫に強い芝を育成する。秋～冬にかけては、ターフキープとの併用で地温上昇を図り、グリーンの凍結を防止する。
③ハイブリッドA	②～⑨タンクミックス	5.0			1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		アミノ酸、糖、ミネラル、酢酸等を葉面吸収させることで、芝の活性を高めると同時に、グリーンのパツティングクオリティを高める。
④ハイブリッドG	②～⑨タンクミックス	5.0				1.0		1.0		1.0			1.0	1.0	植物の必要成分の総てをバランス良く含有している有機総合液肥。
⑤アクアビュー	②～⑨タンクミックス	7.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	植物原料の発酵により得られた酵素およびミネラルで、少量で芝に活性を与え、分決促進、発根促進効果が高い。低コストのため、年間を通して常用できる。
⑥ターフキープ	②～⑨タンクミックス	12.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	主成分のトレハオースは、乾燥、凍結に強い芝にすると同時に、有用土壌菌のエサとなるため土壌菌の働きを活性化し、地温上昇に寄与し、冬場のグリーンの凍結を防止する。ミネバイオSとの併用がよい。
⑦アクアセーフG	②～⑨タンクミックス	12.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	副作用のない植物系土壌浸透剤として様々な資材と混用出来、特に夏場のドライスポット予防に有効。またバランスのとれた天然ミネラルと植物酵素が土壌を改良し、芝を活性化する。
⑧腐植酸	②～⑨タンクミックス	9.0			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		栄養、ミネラル、水分の保持力をたかめると同時に、サッチ分解を促進し、発根を促進する。アクアビューとの混用が更に効果を高める。
⑨グリーンバイオ	②～⑨タンクミックス	4.0			1.0		1.0		1.0		1.0				数種類の好気性光合成細菌より構成されており、相互作用によって芝に活性を与えると同時に、サッチ分解に特異に作用する。ターフキープ、腐植酸との併用が好ましく、250倍希釈で病害対策にも有効。
⑩エコグリーン	単独散布	3.0				1.0			1.0			1.0			発根促進、病害虫予防を目的に年3回、1000倍希釈で散布する。銀苔対策には、180倍希釈(アクアセーフG併用)で1L/m ² 散布。しつこい苔には追い撒きが有効。
⑪ターフカルゲンP	単独散布	3.0						1.0	1.0	1.0					植物が吸収しやすい有機酸カルシウムでかつオリゴ糖配合によりリン酸との結合を防止している。暑さ、踏圧、スリキレ等、芝にストレスがたまった時に施用する。
⑫モスカットEX	単独散布	8.0					4.0	4.0							銅イオンがグリーンの藻の駆除に有効。250倍希釈で0.5～1.0L/m ² の散布。グリーンへのダメージは殆どないが、暑い夏場の施用は出来るだけ避けるのが賢明。藻対策は、冬場にすませるべき。
⑬メルシー1、2	単独散布	100.0				50.0						50.0			芝専用のミネラル補給土壌改良ペレット。春、秋年2回の施用で、芝が踏圧、擦り切れに強く、芽の節間が詰まり葉数密度が高まり、根の健全な育成を促進し、葉数密度も向上します。透水性も向上。

数字は使用原単位で単位はg/m²